

ディーゼルエンジンSCR用試薬

AUS 32 «AdBlue»

投資プロジェクト 合併有限責任会社 “ONESWILL”
oneswill.uz

目次

- ❖ 製品概要
- ❖ 適用
- ❖ 生産とライセンス
- ❖ トラック使用に関する世界の要求と製造に係る問題
- ❖ AdBlue使用の将来性
- ❖ 市場分析と輸出可能性
- ❖ 世界的需要
- ❖ 投資プロジェクト 合併有限責任会社「ONESWILL」
- ❖ 我が社の成功「プロジェクト」

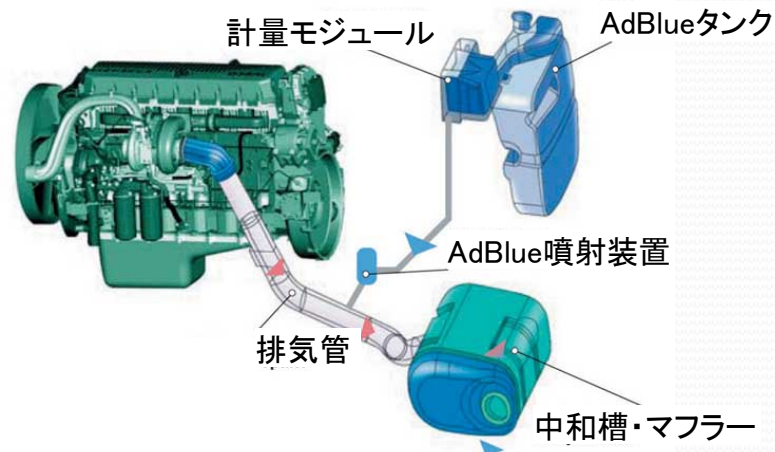
製品概要

AdBlueの目的は？

- 諸外国のディーゼル自動車メーカーは、排気ガス中の有毒物質含有量を厳しく制限したユーロ4、ユーロ5、ユーロ6に基づく自動車生産が義務付けられている。システムは、排気中の有毒性を低下させるためのSCR(選択触媒還元)と名付けられており、ADBLUE試薬が用いられている。

AdBlueとはなにか？

- AdBlue – 脱塩水(67.5%)に高純度(32.5%)の尿素を溶かした高品質試薬



適用

AdBlue



- ウズベキスタンにとっては、ヨーロッパ行きの車の喫緊の問題
- ヨーロッパ・東アジア諸国にとっては、試薬は空気のような存在



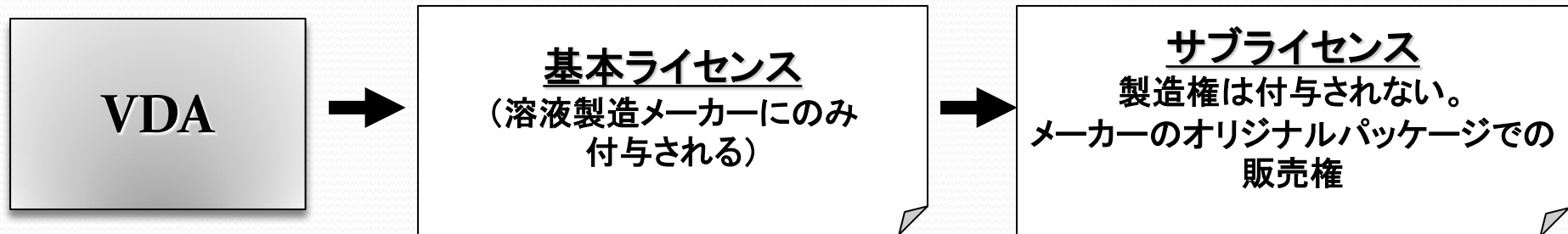
AdBlue液は、自動車の特殊容器に入れられている。

消費量：ユーロ4では ディーゼル燃料消費量の4%、ユーロ5及びユーロ6では約6%であり、100kmあたり1～2リットルである。走行距離と車種によるが、トラックの場合、年間平均1,000～2,000リットルのAdBlueを消費することになる。

生産とライセンス

AdBlue商標の商標権は、ドイツ自動車工業会 (Verband der Automobilindustrie、略してVDA) に帰属している。

AdBlue® 液の仕様は、ISO22241-1/2に適合している。またこの規格は、販売網に対する要求をも定めている。



トラック利用に関する世界の要求と製造に係る問題

- 2009年以降、EU諸国はAdBlue試薬を使用していない貨物輸送の利用を完全に禁止した。
- 2010年以降、EU域内における新規トラックには全て、AdBlue用の補助タンクが取り付けられている。
- 北東アジア諸国では、AdBlueなしでの自動車利用は禁止されている。
- 韓国では、AdBlueはトラックだけでなく、ディーゼル乗用車にも使用されている。

製造に係る問題：本試薬生産の主原料は尿素であるが、尿素は窒素工場で生産される。窒素工場のような大規模工場における低コスト燃料はガスであるが、今年のカス価格上昇により、ヨーロッパ、中国の多数の企業がAdBlue生産を中止した。

AdBlue使用の将来性

➤ 排気ガス中の有毒物質の更なる削減のために、EPA10及びユーロ6規準への適合が必須である。メーカーには3つの発展の選択肢がある：

廃ガスを60%まで循環させるハイレベルな循環装置の利用。

NOx削減を目的としたSCRシステム（AdBlueによる尿素またはアンモニア噴射）。

または、上記2つの技術の結合。

➤ 環境基準への適合のため、メルセデスベンツ、ダフ・トラックス、ルノー・トラックス、イヴェコ、チェコのタトラ、ロシアのヤロスラフブリ・モーター・プラントは、触媒中和システムSCRの利用を選択した。これは、排気管へのAdBlue尿素的の噴射を行うシステムである。

➤ したがってこれから数年後には、AdBlueの尿素容器は、多くのバス、トラック、さらには乗用車にも装備されることになる。



市場分析と輸出可能性

本製品の主要販売市場は、以下のEU諸国である：ドイツ、ノルウェイ、フィンランド、スウェーデン、ポーランド、リトアニア、ラトビア、セルビア、オランダ、クロアチア、チェコ

北東アジア：日本、韓国

AdBlueの主たる生産国：ドイツ、ポーランド、チェコ、スウェーデン、中国、韓国

CIS域内の生産国

CIS域内における本試薬の生産国は、ロシアのみである。カザフスタンはAdBlue生産に取り組もうとしているが、同国にはカルバミド生産工場がないため、プロジェクトは一時休止中である。しかし恐らく、近い将来、この問題は解決されるであろう。

本試薬の消費量は世界的に右肩上がりであり、EUだけでも年間1億リットル弱が消費されている。韓国では、年間平均7,000万リットルが消費されている。

市場分析と輸出可能性

EU市場及び北東アジア諸国の市場調査の結果、ウズベキスタンには本製品を生産する潜在的可能性があるという結論に達した。ウズベキスタンは、EU諸国や韓国へのAdBlue輸出に適した場所にある。以下、世界市場での本試薬の平均価格を記す。

1リットル当たりの補充価格
0,72 \$



1缶1リットル当たり
1,26 \$



投資プロジェクト 合併有限責任会社「ONESWILL」

- 前述の情報に基づき、我々は韓国のパートナーと共に、中央アジア地域初のAdBlue生産工場設立を決定した。
- プロジェクトコストは1,000万ドル、一昼夜の生産量は20万リットル弱を想定している。
- 複数の韓国のパートナーは、プロジェクトコストの70%弱を出資予定である。
- 投資プロジェクトは、大口購入者からの引き合いに基づいて計画された。
- このような製品の輸出ポテンシャルは、非常に高い。
- 生産の全過程で、ウズベキスタン製原材料が使用される。
- ウズベキスタンにおけるAdBlue生産は、尿素の価格、政治危機、制裁などの対外ファクターに左右されることなく実施されることになる。

投資プロジェクト 合併有限責任会社「ONESWILL」



AUS32試薬生産



ウズベキスタン初のディーゼル車排気ガス用試薬AUS32生産組織体の設立を計画中。一日の生産能力20万リットルのフェルガナ州の生産複合体である。プロジェクト総コストは、1,000万ドル。



プロジェクト策定者の投資: 700万ドル



必要投資額: 300万ドル



年間純利益: 150万ドル



雇用人数: 60～70人



我が社の成功「プロジェクト」

合併有限責任会社「UZ-SEGANG」－ 韓国のパートナーとの合併で2018年にフェルガナ州に設立された。UZ-SEGANG社ではすでに農作物の完全加工が実施されており、商品が東南アジアやEUに輸出されている。現代的な物流センターも設立されており、20種類弱の農作物の選別、計測が実施されている。スタッフ数は194人、年間輸出額は1,200万ドル弱。過去30年でフェルガナ盆地で初めて、飛行機にチェリーを満載にして出荷した。

現代的物流センター「UZ-SEGANG」



- 数字で見る物流センター
- 取り扱い能力－月800万トン
 - 社員数－197名
 - 年間輸出額－2,000万ドル以上
 - 20種類弱の農作物の加工の完全サイクル
 - 機材総額2,500万ドル

我が社の成功「プロジェクト」

合併有限責任会社「SUNFINITE AGRO」－ 点滴灌漑システム付きの産業果樹園創出を目指して設立された。現在、割り当てられた3,000ヘクタールのうち、679ヘクタールで植え付け作業、貯水施設建設、点滴灌漑システム構築などが実施されている。

貯水池 No.1



7万リットル相当の
点滴灌漑用貯水池

貯水池 No.2



2万リットル相当の
点滴灌漑用貯水池

Aブロックの耕作地



点滴灌漑システム付き
チェリー園